

平成 24 年 3 月
海外電力調査会
電力国際協力センター

平成 23 年度 JICA 国別研修「アゼルバイジャン火力発電（ガスタービン）」
の実施について

独立行政法人国際協力機構（JICA）からの委託を受け開発途上国から研修員を受入れ、関係機関の協力により電力分野における専門知識や技術の移転を行っています。

今回、(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス殿のご協力により下記のとおり研修を実施しました。

技術研修期間	平成 24 年 2 月 20 日 ～ 3 月 13 日
受入機関	社団法人 海外電力調査会 株式会社 パワー・エンジニアリング・アンド・ トレーニングサービス
研修員	アゼルバイジャン 10 名
研修内容	<ul style="list-style-type: none">・ 講義 日本の電気事業の概要、コンバインド発電設備基礎、定期点検・燃焼器点検、高温部位の損傷事例・補修方法 ガスタービンの設計・開発・予防保全、余寿命診断・ 視察 柳井発電所、水島発電所、三菱重工高砂工場、 東芝京浜工場

